

講義録レポート

講義録コード

03-22-4-02-[4] - [0] [7]

講座	税 理 士	科目	財務諸表論
目標年	2022年合格目標	テキスト	No. (4)
コース	基礎マスター	回数	第 (7) 回
用途	ビデオブース WEB通信 ・ DVD通信 ・ Webフォロー ・ 音声DLフォロー		

収録日	2021 年 11 月 22 日		
講師名	的場 宏大 先生	板書	4 枚 ※レポート含まず (名称/該当教材)
		その他	2 枚 補助レジュメ (名称/該当教材)
			枚

授業構成	講義 ミニテストの解説 純資産会計	⇒	講義 純資産会計	⇒	講義 純資産会計 包括利益表示基準
実施 テスト	【 ● 】ミニテスト 【 】実力テスト 【 】その他 () 【 】なし	テキストNo.(4)第(7)回		テストでの正誤 【 】あり 【 ● 】なし	
	実施時間 (10) 分			【 】問題 【 】解答用紙 【 】解答解説	
使用教材	【 】基本テキスト No.() 【 】トレーニング No.() 【 】ポイントチェック	No.()	該当ページはテキスト内の コントロールタワーをご覧ください	【 ● 】理論テキスト 【 】その他()	
配布教材	【 】基本テキスト No.() 【 】トレーニング No.() 【 】トレーニングシート No.() 【 】テスト帳合レジュメ <講義録添付なし> () 【 】別途配布レジュメ <講義録添付あり> () 【 】その他 ()	No.() No.() No.()		【 】ポイントチェック 【 】理論テキスト	
備考	* ビデオブースにてご視聴の方へ 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認下さい。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します)				

補助レジュメ：No.4-7

◎ 株主資本の区分

(1) 会計（基準）の考え方

資	本	金
資	本	剰
余	金	
利	益	剰
余	金	

(2) 会社法の考え方

資	本	金
準	備	金
剰	余	金

(3) 現行制度上

資	本	金
資	本	剰
余	金	
資	本	準
備	金	
そ	の	他
資	剰	
利	益	剰
余	金	
利	益	準
備	金	
そ	の	他
利	剰	

◎ 自己株式処分差益

現金 1,000	自己株式 800
	処分差益 200

◎ 包括利益

1 期末	2 期末
	繰剰 30
	評差 20

補助レジュメ：No.4-7

◎ リサイクルリング (P315 設例)

第1期	投資有価 20 / 評価差額 20						
第2期	現金 150 / 投資有価 120 売却益 30	① 売却仕訳					
	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価差額 20</td> <td style="font-size: 2em;">/</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">売却益 20</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">過年度の包括</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">純利益</td> </tr> </table>	評価差額 20	/	売却益 20	過年度の包括		純利益
評価差額 20	/	売却益 20					
過年度の包括		純利益					

※ 期首の洗替えは度外視する。

※ 概フレでは「リサイクルリング」という用語が使用されているが、退職給付基準や包括利益表示基準においては「組替調整」という用語が使用されており、同じ意味として理解してよい。

◎ 第70回本試験 (参考)

企業活動に関する指標として、包括利益は当期純利益との関係においてどのように位置づけられるか、両者の関係について論じなさい。

税 理 士 講義録	コース・講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.4 第7回

配布物	★テスト類： []	講 師	的 場 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒 板 内 容

理由 {

区分することにより、もたらされること(成果)

純利益 ←→ 株主資本

包括利益 ←→ 純資産

② 株主資本の区分 (P297)

(1) 会計(基準)の考え方 (3) 制度上

維持拘束性 { 資本金
資本剰余

処分可能性 { 利益剰余

(2) 会社法の考え方

分配不能 { 資本金
準備金

分配可能 { 剰余金

資本金

資本剰余

資本準備
その他資剰

利益剰余

利益準備
その他利剰

会社法の考え方を考慮

(分配)
(処分)

税 理 士 講義録	コース・講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.4 第7回
-----------	---------	--------	-----	-------	-----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	的 場
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		先生

黒 板 内 容

資本金
↓
剰余金 → 資本剰余
 ↓
 利益剰余

会社法 - 計規
金商法 - 財規

① 自己株式処分差益 (P.299)

現金 1,000 | 自己株式 800

処分差益 200

① 実態は新株発行であり、
払込資本の性格

↓

資本剰余金

・ 資本集備

その他資剰

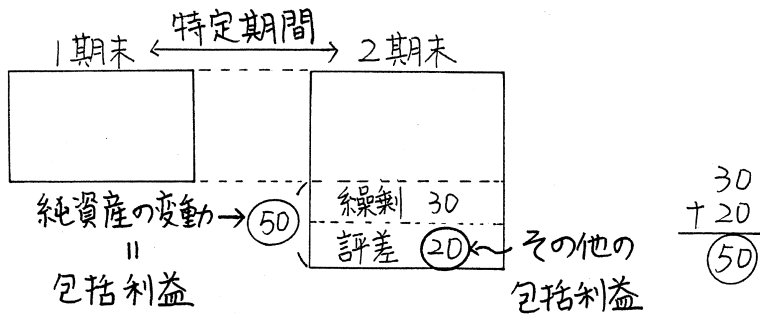
② 会社法上、処分差益は
分配可能額を構成 →

税 理 士 講義録	コース講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.4 第7回

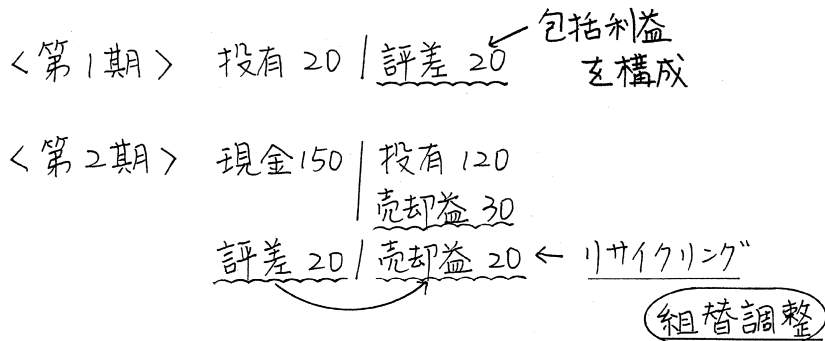
配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	講 義 的 場 所
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		
			先生

黒 板 内 容

① 包括利益 (P.312)



② リサイクルング (P.315)



税 理 士 講義録	コース・講義等	基礎マスター	科 目	財務諸表論	回 数	テキストNo.4 第7回

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	的 場 先生
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		

黒 板 内 容	
<p>目的 {</p> <p>包括利益 の位置付け {</p>	<p>企業全体の事業活動</p> <p>本業での売上 + 金融商品の運用成果</p>